

# 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2017 年 6 月 18 日作成

<b>研究課題名</b>	<p style="text-align: center;">網膜動脈閉塞症における アンギオグラフィ OCT Angiographyの有用性の検討</p>
<b>研究の対象</b>	<p>2016 年 1 月から 2017 年 6 月に当院を網膜動脈閉塞症で受診され、蛍光眼底造影検査、光干渉断層計（OCT）検査、OCT Angiography（OCTA）<sup>アンギオグラフィ</sup>を施行された方が対象です。</p>
<b>研究目的 ・方法</b>	<p>網膜動脈閉塞症において蛍光眼底造影検査と OCTA 画像を比較し、OCTA が網膜動脈閉塞症の診断に有用であるかをカルテベースの診療情報から検討します。</p>
<b>研究期間</b>	<p>西暦 2018 年 1 月 15 日 ～ 西暦 2018 年 12 月 31 日</p>
<b>研究に用いる 試料・情報 の種類</b>	<p>[観察・検査項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性別、年齢、既往歴（特に心血管系のイベントの有無）</li> <li>・ 視力、臨床所見、発症から来院までの時間</li> <li>・ 蛍光造影検査での灌流時間</li> <li>・ 眼底写真、OCT、OCTA の評価</li> </ul> <p>[観察・検査方法]</p> <p>本研究カルテより情報を入手し、評価項目に基づいて解析を行います。蛍光眼底造影検査における網膜内循環時間を計測します。OCTA における血管の欠損の評価は血管密度で評価します。血管密度の分析にはパブリックドメインの画像処理ソフトウェアである Image J を用います。OCTA 画像を白黒画像で二値化し、血管を表す黒いピクセルをカウントすることで血管密度を求めます。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 眼科 （研究責任者）井上 麻衣子 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-8490</p>	